

エコアクション21

環境活動レポート



平成 21 年 8 月 31 日

・ ・ 環境問題を皆で理解し広めよう ・ ・

不二高圧株式会社

環境活動レポート

2008年度（平成20年7月～平成21年6月）

目 次

環境方針	1
事業の概要・実施体制	2
環境経営システムの組織図	4
環境目標と実績	5
具体的な環境活動計画	6
環境活動の取組計画	9
環境活動の取り組み結果と評価	10
環境関連法規に係る遵守及び違反、訴訟等の状況	16
代表者による評価と見直し	17

【環境方針】

「基本理念」

当社は、高圧ガスの容器及び施設の検査、並びに高圧ガス設備工事を事業とし、正しく信頼ある技術で保安を確保することを使命とし、活動において循環型社会の構築に参加し、環境保全に積極的に取り組み、二酸化炭素排出量の削減・廃棄物排出量の削減・排水量の削減に努力して、自然環境への負荷低減を目標とする。

「行動指針」

環境経営システムの運用にあたり、主要事項を次のとおり示す。

- 1) 高圧ガスの容器及び施設の検査業務、並びに設備工事業務において、高圧ガスの保安を確保すると共に「省資源、省エネルギー、リデュース、リユース、リサイクル」を常に実行推進する。
- 2) 関連法規及び地域の条例を遵守し、環境問題及び取り組み方法等について、全社員に教育訓練を行い周知徹底する。
- 3) 業務活動で必要な資機材は「グリーン購入法」を優先して選択購入する。
- 4) 行政、地域及び利害関係者等との交流を深め、情報交換、協力活動、その他取り組みの拡大に務める。
- 5) 環境活動レポートは公開し、クレーム及び緊急時に備えて対応処置の確立と方法について訓練を行う。

制定年月日 平成19年7月25日

改定年月日 平成21年8月1日

不二高圧株式会社

代表取締役社長 新井二郎

【事業の概要・実施体制】

1. 事業所名及び代表者名

- ・社名 不二高压株式会社
- ・代表者 代表取締役 会長 松浦 紀久郎
代表取締役 社長 新井 二郎

2. 事業所所在地

〒421 - 0218 静岡県焼津市下江留 4 3 7 番地の 1 6
TEL・054 - 622-1120(代) FAX・054 - 622-3487

3. 環境管理の責任者及び担当者氏名、連絡先

- ・環境管理責任者 松浦 紀久郎
- ・環境事務局責任者 松浦 紀久郎(兼務)・受付事務担当者 石田 文子
連絡先 TEL・054 - 622 - 1120(代)
FAX・054 - 622 - 3487
<http://www.zz-fujikoatsu.co.jp/>
E-mail・zz-jj@po4.across.or.jp

4. 事業の内容

- ・「容器検査部」 高压ガス容器の再検査
液化石油ガス・タンクローリ用容器の法定再検査の施行。
- ・「工事部」 高压ガス設備の点検・設計・施工
高压ガス設備の法定検査、(貯槽、配管、機械精密検査) 定期点検の施行。
事業所の保安検査、設備の修理、管工事業、機械設置工事業の施行。
- ・「事務所」 事務処理、書類作成

5. 事業の規模

- ・法人設立 昭和 45 年 7 月 23 日(創立 昭和 40 年 1 月)
- ・資本金 1,000 万円
- ・決算期 期首 7 月 1 日 期末 6 月 30 日
- ・従業員 37 人
- ・敷地面積 14,321 m²
- ・床面積 容器検査工場 900.49 m²・タンクローリ 440.15 m²・倉庫 153 m²
事務所 335.24 m²・休憩室 105 m²・

6. 活動規模

売上

期首 7月1日 期末 6月30日

項目	単位	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
総売上高	百万円	635	722	774
容器検査部	百万円	198	167	234
工事部	百万円	437	555	540

設備等の状況

・「容器検査部」

定置検査設備一式（残ガス回収、耐圧検査、塗装他）小型 350 本/日
車 両（台） 7t車 1・ 4t車 2・ 3t車 1・ 営業車 2・ リフト 1

・「工事部」

移動検査機器一式（非破壊検査機器他 K H K 基準検査設備）3 セット
設計施工関係（キヤド等ソフト機器、資材加工機器）1 式
車 両（台） 検査専用バン 4・ 営業車 2（ガソリン車）

・「事務所」

パソコン 14 台 プリンター 7 台 コピー機 3 台
車 両（台） 営業車 2（LPG 車）

7. 資格（許認可・登録）

・「容器検査部」

容器検査所の登録：静岡県 平・18・10・1 防消防第 44 号の 5
（50,000・以下の液石及び液化天然ガス溶接容器で、T P 5 Mpa 以下）
高圧ガス製造許可：静岡県 昭・56・1・16 消第 88 - 10 号
液化石油ガスタンクローリ検査事業者認定（高圧ガス保安協会 K T - 3）

・「工事部」

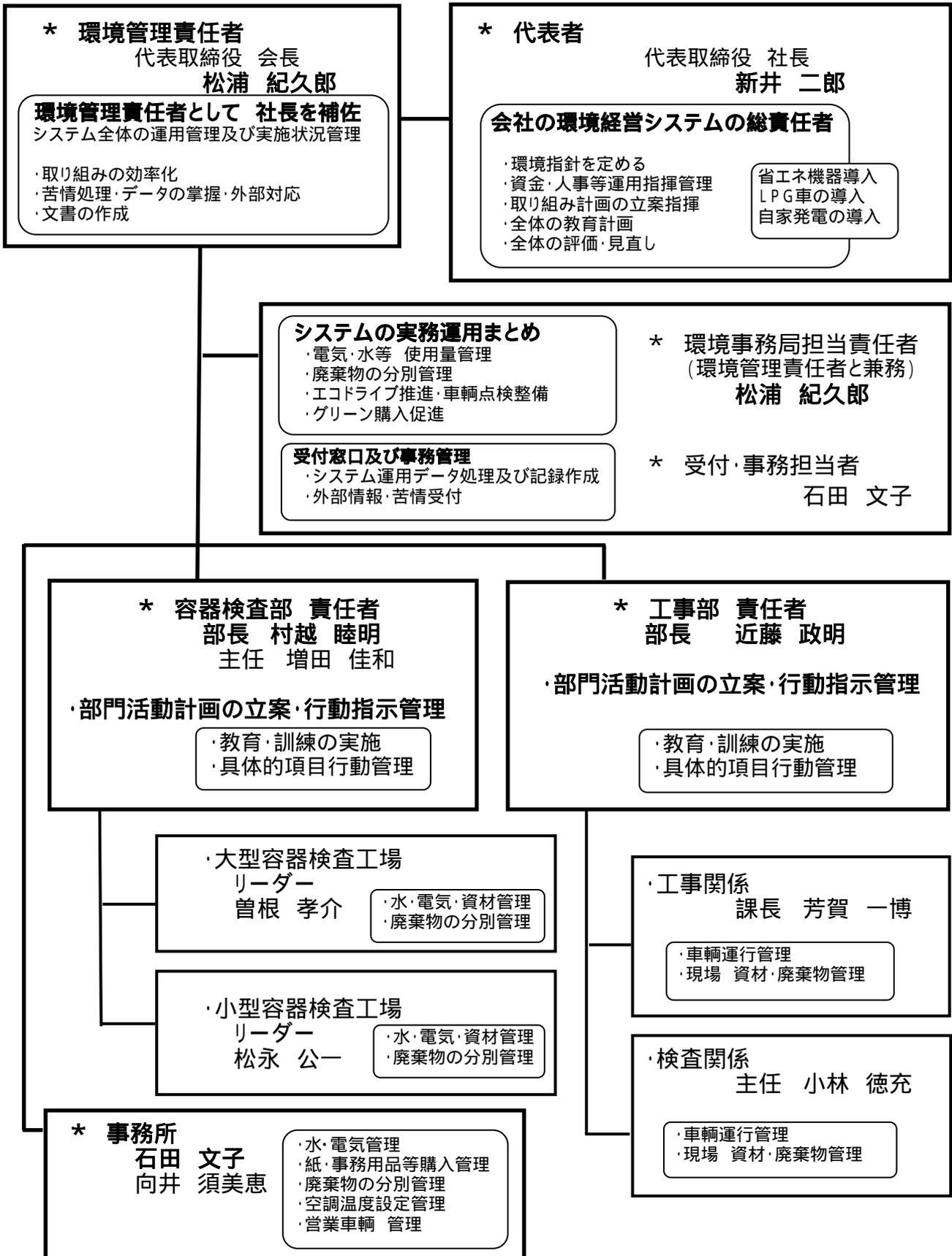
液化石油ガスプラント検査事業者認定（高圧ガス保安協会 K P - 1 8）
指定保安検査機関の指定：（経済産業省）平成 18.01.27 原第 21 号）
指定保安検査機関の業務規定認可（経済産業省）平成 18.01.30 原第 2 号）
建設業の許可（管、機械設置工事）静岡県般 - 17 第 9549 号平 17 年 11 月
特定液化石油ガス設備工事事業開始届け：昭・60・2・15 静岡県 1427
産業廃棄物収集運搬業許可 第 143883 号（静岡県・静岡市・浜松市）
（20 年度 実績なし）

・「環境関係」

エコアクション 21 認証・登録番号 0002362

8 . 環境経営システムの組織図

実施体制



【環境目標と実績】

総 合

(容器検査部・工事部・事務所)

平成19年度(H19/7～H20/6)～平成21年度

二酸化炭素排出量 (目標設定は平成18年度実績を基準 = 100%とする)

項 目		平成18年度 実績(基準年)	平成19年度 実績	平成20年度 目標	平成21年度 目標
二酸化炭素排出量		599,365.3	491,148.2	563,403.4	557,409.7
kg - CO2		100.0	82.0	94.0	93.0
購入電力	消費量 kwh	144,191.0	134,993.0	135,539.5	134,097.6
	%	100.0	93.6	94.0	93.0
	排出量	54,504.2	51,027.4	51,233.9	50,688.9
	%	100.0	93.6	94.0	93.0
液化石油ガス LPG車両用	消費量 kg	1,054.7	2,157.7	1,993.4	1,982.8
	%	100.0	237.3	189.0	188.0
	排出量	3,166.2	6,477.4	598,406.1	595,240.0
	%	100.0	237.3	189.0	188.0
ガソリン	消費量 L	10,329.4	7,142.6	9,193.2	9,089.9
	%	100.0	69.1	89.0	88.0
	排出量	23,981.4	16,582.8	21,343.4	21,103.6
	%	100.0	69.1	89.0	88.0
軽油	消費量 L	33,909.2	34,192.6	31,874.6	31,535.6
	%	100.0	100.8	94.0	93.0
	排出量	88,989.3	89,733.0	83,649.9	82,760.0
	%	100.0	100.8	94.0	93.0
残ガス燃焼	燃焼量 kg	98,800.0	67,700.0	83,980.0	79,040.0
	%	100.0	68.5	85.0	80.0
	排出量	296,593.6	20,323.3	252,104.6	237,274.9
	%	100.0	68.5	85.0	80.0

廃棄物排出量 (目標設定は平成18年度実績を基準 = 100%とする)

項 目		平成18年度 実績(基準年)	平成19年度 実績	平成20年度 目標	平成21年度 目標
単純焼却 廃棄物	t	4.74	4.62	4.46	4.41
	%	100.0	97.5	94.0	93.0
最終処分 廃棄物	t	10.71	12.17	10.07	11.32
	%	100.0	113.6	94.0	93.0

総水使用量 (目標設定は平成18年度実績を基準 = 100%とする)

項 目		平成18年度 実績(基準年)	平成19年度 実績	平成20年度 目標	平成21年度 目標
上水使用量	m ³	659.0	715.00	619.46	612.87
	%	100.0	102.9	94.0	93.0
地下水使用量	m ³	6,866.0	4,145.00	6,454.04	6,385.38
	%	100.0	60.4	94.0	93.0

【具体的な環境活動計画】

容器検査部

責任者

「二酸化炭素排出の削減」

1 電気の使用量削減

不要電力のカット 工場・倉庫
照明・換気扇・電動機・電道工具・外灯の全電源
省エネルギー
省エネ機器の購入・自家発電

曽根孝介、松永公一

村越睦明

2 燃料の使用量削減

エコドライブの周知徹底と実行
車両の効率的運行及び車両整備
消費燃料の状況把握

村越睦明
村越睦明、増田佳和
石田文子



「水の使用量削減」

節水
検査用水
洗車用水
水漏れチェック
雨水の利用・検査用水のリサイクル

鈴木千秋
村越睦明
増田 佳和
曽根孝介、松永公一

「廃棄物排出量の削減及びリサイクルの推進」

廃材の分別、リサイクル、リユース、リデュース
残資材、缶、瓶、紙の分別の徹底
マニフェスト管理

曽根孝介、松永公一
村越睦明



「グリーン購入法の優先的活用」

村越睦明

【具体的な環境活動計画】

工事部（社外作業）

「二酸化炭素排出の削減」

1 電気の使用量削減

不要電力のカット 倉庫・工事現場
照明・電動機・電道工具

芳賀一博、小林徳充

2 燃料の使用量削減

エコドライブの周知徹底と実行
車両の効率的運行及び車両整備
消費燃料の状況把握

村越睦明
芳賀一博
石田文子

「水の使用量削減」

節水
洗車用水



芳賀一博、小林徳充

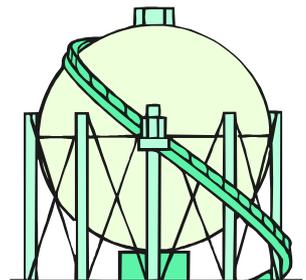
「廃棄物排出量の削減及びリサイクルの推進」

廃材の分別、リサイクル、リユース、リデュース
残資材、缶、瓶、紙の分別の徹底
マニフェスト管理

芳賀一博、小林徳充
近藤政明

「グリーン購入法の優先的活用」

近藤政明



【具体的な環境活動計画】

事務所

「二酸化炭素排出の削減」

1 電気の使用量削減

不要電力のカット 事務所 休憩室
照明・換気扇・テレビ等電源管理
空調機フィルター清掃
省エネルギー
冷暖房の室温管理（冬・21、夏・25）



向井須美恵
村越睦明

向井須美恵

2 燃料の使用量削減

エコドライブの周知徹底と実行
車両の効率的運行及び車両整備
LPG車の導入、バイオ燃料の取り入れ
消費燃料の状況把握

村越睦明
村越睦明、増田佳和
新井二郎、村越睦明
石田文子

「水の使用量削減」

節水
事務所、休憩室、花壇散水
水漏れチェック
雨水の利用

向井須美恵
村越睦明
松浦紀久郎



「廃棄物排出量の削減及びリサイクルの推進」

廃材の分別、リサイクル、リユース、リデュース
残資材、缶、瓶、紙の分別の徹底
コピー用紙の両面使用

向井須美恵
向井須美恵

「グリーン購入法の優先的活用」

事務所での必要資材

向井須美恵



【 環境活動の取組計画 】

平成 20 年度

容器検査部

取組項目		取組計画												
		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
1. 電気使用量の削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
* 照明灯管理	工場	曾根												
		松永												
* 圧縮機の運転	工場	松永	担当者 打ち合わせ											
* 搬送コンベアー			担当者 打ち合わせ											
* ショットブラスト			機械 入替え											
* 真空ポンプ			担当者 打ち合わせ											
2. 化石エネルギーの削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
* 運転計画の合理化	配送	村越	車輦別集計											
* エコ運転の実施	配送	村越	車輦別集計											
	通勤時	村越	通勤経路 確認			安全運転コンクール			安全運転コンクール					
* 車輦整備		村越												
3. 廃棄物の抑制		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
* 排出量の削減	工場	曾根	分別ポスター掲示											
		松永	分別ポスター掲示											
* 生産資材の節約	工場	村越					在庫確認						在庫確認	
4. グリーン購入品目の活用		村越	検討											
5. リサイクルの推進		村越	分別ポスター掲示											
6. 廃棄物処理の確認		村越	分別ポスター掲示											
7. 総排水量の削減		工場	曾根											
	松永													

工事部（社外作業）

取組項目		取組計画												
		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
1. 電気使用量の削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
* 照明	工事部	芳賀												
* 電動機・電動工具		小林												
2. 化石エネルギーの削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
* 運転計画の合理化	工事部	近藤	車輦別集計											
* エコ運転の実施	工事部	芳賀												
* アイドリング抑制		小林												
* 車輦整備	工事部	芳賀												
3. 廃棄物の抑制		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
* 排出量の削減	工事部	芳賀	分別ポスター掲示											
		小林	分別ポスター掲示											
* 生産資材の節約	工事部	近藤				合同購入の検討	在庫確認						在庫確認	
4. グリーン購入品目の活用		近藤	検討											
5. リサイクルの推進		近藤	分別ポスター掲示											
6. 廃棄物処理の確認		近藤	分別ポスター掲示											

事務所

取組項目		取組計画												
		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
1. 電気使用量の削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
* 空調 温度設定	事務所	向井	25度に設定・管理					21度に設定・管理						
* 照明 (テレビ)		休憩室	鈴木	25度に設定・管理					22度に設定・管理					
		喫煙室	増田	25度に設定・管理					23度に設定・管理					
2. 化石エネルギーの削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
* エコ運転の実施	事務	石田	車輦別集計									安全運転コンクール		
* アイドリング抑制	通勤時	村越	通勤経路 確認			安全運転コンクール								
* 車輦整備		村越												
3. 廃棄物の抑制		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
* 排出量の削減	事務所	向井	分別ポスター掲示											
* 生産資材の節約		向井	エコ文具 検討					在庫確認						在庫確認
4. グリーン購入品目の活用		向井	エコ文具 検討											
5. リサイクルの推進		向井	分別ポスター掲示											
6. 廃棄物処理の確認		石田	分別ポスター掲示											
7. 総排水量の削減		村越	漏水点検			チェックシール掲示								

【環境活動の取組結果と評価】

平成20年度

総 合 -1

(容器検査部・工事部・事務所)

二酸化炭素排出量 (目標設定は平成18年実績を基準 = 100%とする)

項 目	平成18年度 実績	平成20年度		評価 (達成・不可×)	
		目標	実績		
二酸化炭素排出量	599,365.3	563,403.4	555,815.9		
kg - CO2	100.0	94.0	92.7		
購入電力	消費量 kwh	144,191.0	135,539.5	173,239.0	×
	%	100.0	94.0	120.1	
	排出量	54,504.2	51,233.9	65,484.3	
	%	100.0	94.0	120.1	
液化石油ガス LPGリフト用	消費量 kg	645.0	612.8	277.0	
	%	100.0	95.0	42.9	
	排出量	1,936.3	1,839.5	831.5	
	%	100.0	95.0	42.9	
液化石油ガス LPG車両用	消費量 kg	1,054.7	1,993.4	2,355.1	×
	%	100.0	189.0	223.3	
	排出量	3,166.2	5,984.1	7,069.9	
	%	100.0	189.0	223.3	
ガソリン	消費量 L	10,329.4	9,193.2	6,462.0	
	%	100.0	89.0	62.6	
	排出量	23,981.4	21,343.5	15,002.5	
	%	100.0	89.0	62.6	
軽油	消費量 L	33,909.2	31,874.7	39,241.5	×
	%	100.0	94.0	115.7	
	排出量	88,989.3	83,649.9	102,982.9	
	%	100.0	94.0	115.7	
残ガス燃焼	燃焼量 kg	98,800.0	83,980.0	79,000.0	
	%	100.0	85.0	80.0	
	排出量	296,593.6	252,104.6	237,154.8	
	%	100.0	85.0	80.0	

廃棄物排出量 (目標設定は平成18年実績を基準 = 100%とする) 平成20年度

項 目	平成18年度 実績	平成20年度		評価 (達成・不可×)
		目標	実績	
単純焼却	4.74	4.5	3.85	
廃棄物	100.0	94.0	81.2	
最終処分	10.71	10.07	9.58	
廃棄物	100.0	94.0	89.4	

* 単純焼却の廃棄物には、工場から出る塗料カス(産廃)を含む。残ガスの燃焼は含まない。

廃棄物合計	15.5	14.5	13.4	
平均 %	100.0	94.0	86.9	

総水使用量 (目標設定は平成18年実績を基準 = 100%とする) 平成20年度

項 目	平成18年度 実績	平成20年度		評価 (達成・不可×)
		目標	実績	
上水使用量	695.0	653.3	581.5	
	100.0	94.0	83.7	
地下水使用量	6,866.0	6,454.0	8,999.0	×
	100.0	94.0	131.1	

水使用量合計	7,561.0	7,107.3	9,580.5	×
平均 %	100.0	94.0	126.7	

【環境活動の取組結果と評価】

平成20年度

総合 -2
(容器検査部・工事部・事務所)

売上実績を加味して排出量を再計算した場合の実績と評価

総合	平成18年度実績(基準年)		平成20年度実績	
売上実績(百万円) 売上増減率(%)	635 100		774 121.9	
	単純排出量での実績(%)と評価		売上実績を加味して再計算した排出率での実績(%)と評価	
二酸化炭素排出量	92.7		76.1	
廃棄物排出量	86.9		70.0	
総水使用量	126.7	×	116.7	×

容器検査部	平成18年度実績(基準年)		平成20年度実績	
売上実績(百万円) 売上増減率(%)	198 100		234 118.2	
	単純排出量での実績(%)と評価		売上実績を加味して再計算した排出率での実績(%)と評価	
二酸化炭素排出量	108		91.4	
廃棄物排出量	87.8		74.3	
総水使用量	131.1	×	110.9	×

工事部	平成18年度実績(基準年)		平成20年度実績	
売上実績(百万円) 売上増減率(%)	437 100		540 123.6	
	単純排出量での実績(%)と評価		売上実績を加味して再計算した排出率での実績(%)と評価	
二酸化炭素排出量	94.5		76.5	
廃棄物排出量	109.5	×	88.6	

* 事務所は 売上実績が算出できないので、計算できませんでした。

総合 コメント

事業が小規模であり、固定業務(検査、点検等)以外に、緊急性且つ不規則でサービスを伴う業種で事業の年次計画に大きく変動が生じる場合があり、このことが環境活動の取り組み結果に連動していると考えます。

- ・ 項目ごとの×印評価も、売り上げ実績を加算して排出量を再計算した評価と対比して 総合評価としました。
- ・ 水利用については、原因究明と利用方法等について再検討する考えです。
- ・ 今後も具体的活動計画の取り組みの工夫と、実行の徹底を継続努力して成果に繋がります。

【環境活動の取組結果と評価】

平成20年度

容器検査部 -1

二酸化炭素排出量 (目標設定は平成18年実績を基準 = 100%とする)

項目	平成18年度 実績	平成20年度		評価 (達成・不可×)
		目標	実績	
二酸化炭素排出量 kg - CO2 %	420,072.0 100.0	394,867.7 94.0	453,845.1 108.0	×
購入電力	消費量 kwh %	142,425.5 100.0	133,880.0 94.0	×
	排出量 %	53,836.8 100.0	50,606.6 94.0	
ガソリン	消費量 L %	2,197.4 100.0	1,955.7 89.0	×
	排出量 %	5,101.6 100.0	4,540.4 89.0	
軽油	消費量 L %	19,694.0 100.0	18,512.3 94.0	×
	排出量 %	51,683.6 100.0	48,582.6 94.0	
残ガス燃焼	燃焼量 kg %	98,800.0 100.0	83,980.0 85.0	
	排出量 %	296,593.6 100.0	252,104.6 85.0	

	評価	【コメント】
二酸化炭素排出量	×	18年度に比べて 容器検査本数が増加した為 目標数値に達成できない結果となった。 18年度 43,960本 20年度 51,501本 排出量/本数で計算すると 92%
購入電力	×	検査量の増加に伴い、工場稼働日・稼働時間が増加したため使用量増加となった。 18年度 247日 20年度 259日
ガソリン	×	営業・サービス等の営業活動が増した分、車輛の走行距離が増加し、ガソリン使用量が増加となった。
軽油	×	常時3台 配送日の増加。検査量の増加に伴い配送車輛の走行距離が増し、燃料の使用量が増加した。 配送員にはさらにエコ運転に勤める様教育する。
残ガス燃焼		検査容器の残ガス量が減少し、残ガス燃焼処理量も減少している。 本来の容器検査所の流通として進めたい。

【環境活動の取組結果と評価】

平成20年度

容器検査部 -2

廃棄物排出量 (目標設定は平成18年実績を基準 = 100%とする)

項目		平成18年度 実績	平成20年度		評価 (達成・不可×)
			目標	実績	
単純焼却 廃棄物	t	4.20	3.95	3.71	
	%	100.0	94.0	88.3	
最終処分 廃棄物	t	9.66	9.08	8.43	
	%	100.0	94.0	87.3	

* 単純焼却の廃棄物は、工場から出る塗料カス(産廃) 87.8

	評価	【コメント】
単純焼却 廃棄物		早め早めの対応処理が良かったと思う。 今後も継続する。
最終処分 廃棄物		分別状況が良好となってきた。リデュース・リユース・リサイクルが浸透して来た結果と考えます。 一步一步 前進する様に啓蒙努力する。

総水使用量 (目標設定は平成18年実績を基準 = 100%とする)

項目		平成18年度 実績	平成20年度		評価 (達成・不可×)
			目標	実績	
地下水使用量	m ³	6,866.0	6,454.0	8,999.0	×
	%	100.0	94.0	131.1	

	評価	【コメント】
地下水使用量	×	検査量の増加に伴い、耐圧試験に使用する水量が増加したため。 目標値の設定に問題があると考え、今後注意する。又、水の再使用を計画して進め、その方法を考える。 18年度 43,960本 20年度 51,501本 水使用量/本数で計算すると 101.2%

* 平成17年から19年にかけて、容器検査量が大きく減少し、19年以降徐々に増えてきている。
原因は、エネルギー業界の環境の変化と、容器保安規則の変更(検査周期の延長)が重なったため。

【環境活動の取組結果と評価】

平成20年度

工事部(社外作業)

二酸化炭素排出量 (目標設定は平成18年実績を基準 = 100%とする)

項目		平成18年度 実績	平成20年度		評価 (達成・不可×)
			目標	実績	
二酸化炭素排出量 kg - CO2 %		56,539.4 100.0	53,147.0 94.0	53,419.5 94.5	×
ガソリン	消費量 L %	8,132.0 100.0	7,237.5 89.0	4,174.7 51.3	
	排出量 %	18,879.8 100.0	16,803.0 89.0	9,692.3 51.3	
軽油	消費量 L %	14,215.3 100.0	13,362.3 94.0	16,617.3 116.9	×
	排出量 %	37,305.7 100.0	35,067.4 94.0	43,609.4 116.9	

	評価	【コメント】
二酸化炭素排出量	×	仕事上、客先出張業務が多く、燃料の消費は仕事量に比例するが、燃料の削減には今後、低燃費・排気ガス低濃度排出車への切替 乗り合い等 車両運行の合理化を実行して改善していきたい。
ガソリン		業務が車両運行を伴うことから、低燃費車に更新したことが主因と考えます。今後も低燃費を考慮した車両の更新に努めます。
軽油	×	工事部の所有車は、ディーゼル車の割合が多く、軽油の使用量は、工事部の業務受注量が増加したことに伴い増えたものとする。 今後の低燃費車両購入と エコ運転の取り組みの徹底を図る。

廃棄物排出量 (目標設定は平成18年実績を基準 = 100%とする)

項目		平成18年度 実績	平成20年度		評価 (達成・不可×)
			目標	実績	
最終処分 廃棄物	t	1.05	0.99	1.15	×
	%	100.0	94.0	109.5	

	評価	【コメント】
最終処分 廃棄物	×	検査及び工事に伴う廃棄物は社員の分別意識が強まり、従来のアバウトの感覚が、きちんと分別できるようになってきたことは進歩である。今回廃棄物の量が増加した原因は平成18年度より工事物件総量が増加した為と考えます。今後、業績の推移をよく見て、目標数値を決めたいと考えます。

【環境活動の取組結果と評価】

平成20年度

事務所

二酸化炭素排出量 (目標設定は平成18年実績を基準 = 100%とする)

項目	平成18年度 実績	平成20年度		評価 (達成・不可×)
		目標	実績	
二酸化炭素排出量 kg - CO2 %	122,317.2 100.0	114,978.2 94.0	48,551.5 39.7	
購入電力	消費量 kwh %	1,765.5 100.0	1,659.6 94.0	×
	排出量 %	667.4 100.0	654.7 98.1	
液化石油ガス LPG車両用	消費量 kg %	909.2 100.0	1,718.4 189.0	×
	排出量 %	2,729.4 100.0	7,069.9 259.0	

* 液化天然ガス(LPG)発電を容器検査部に移動した為 二酸化炭素排出量が減少した。

	評価	【コメント】
二酸化炭素排出量		残ガス利用の発電にかかる数値を容器検査部に移動(実際に工場内の電力として使用)した為、減少しました。(18年度は事務所の排出量の63.32%を占めていました。)
購入電力	×	仕事量の増加により残業時の電気使用量が増加したため。パソコン及びコピー機の台数の増加したため、電気の使用量が増加したと考えます。
液化石油ガス LPG車両用	×	18年度 1台から 20年度は 2台に増加し、営業範囲も 県外へ広がった為、走行距離が増し、使用量も増加したものとされます。エコ運転の実施に努めたい。

廃棄物排出量 (目標設定は平成18年実績を基準 = 100%とする)

項目	平成18年度 実績	平成20年度		評価 (達成・不可×)
		目標	実績	
単純焼却 廃棄物	t %	0.54 100.0	0.51 94.0	0.36 66.7

	評価	【コメント】
単純焼却 廃棄物		分別収集に努めた結果と思われます。 社内の焼却炉の使用は、4月末で中止しました。(収集業者に委託)

総水使用量 (目標設定は平成18年実績を基準 = 100%とする)

項目	平成18年度 実績	平成20年度		評価 (達成・不可×)
		目標	実績	
上水使用量	m ³ %	695.0 100.0	653.3 94.0	581.5 83.7

	評価	【コメント】
上水使用量		節水に努めた結果と思われます。

【環境関連法規に係る遵守及び違反、訴訟等の状況】

当社に適用される環境関連法規への対応、遵守の状況は、次のとおりです。

法規名	要求事項と責任	備考	遵守
1 高圧ガス保安法	検査及び施工における技術基準	高圧ガス製造所	
	保安検査	業者検査	
2 消防法	危険物取り扱い	塗料保管	
3 労働安全衛生法	有機溶剤中毒予防規則	塗装業務	
	作業主任者、環境測定	業者委託	
	健康診断	医療機関	
4 水質汚濁防止法	油分離槽設置、水質基準	容器水圧検査	
5 浄化槽法	浄化槽使用届け、保守点検	業者委託契約	
6 廃棄物処理及び 清掃に関する法	廃棄物処理契約	業者委託契約	
	マニフェスト管理、契約書	業者委託	
	産業廃棄物収集運搬業の許可	産業廃棄物収集運搬	
7 騒音規制法	特定施設の届出	コンプレッサ	
	第2種区域の規制の遵守	7.5kw 1台 22.5kw2台	
8 振動規制法	特定施設の届出	コンプレッサ	
	第1種区域の2の規制の遵守	7.5kw 1台 22.5kw2台	
9 悪臭防止法	敷地境界における規制基準 (E地域)	排水、受水槽 油水分離層	
10 粉じん特定施設	ショットブラスト集塵機	容器錆落とし	
11 静岡県地下水取 に関する条例	第6条第1項(第7条1項) 実績報告	揚水ポンプ	
12 グリーン購入法	環境物品の購入(努力目標)	事務、工事資材	

平成21年8月31日 確認

環境関連法規の確認

当社の事業における関連法規について以上のとおりです。

なお、関連法規に係る義務、責任等の対応処理のなかで、特に、苦情、違反及び訴訟等について過去3年間を確認しました結果、苦情、違反及び訴訟等の発生は無かったことを報告いたします。

【 代表者による評価と見直し 】

平成 20 年 4 月にエコアクション 21 の認証を受け、本来の認証期限は平成 22 年 3 月ですが、弊社会計年度(7月～6月)になるべく近付けることが望ましいとして、今回更新審査の時期を早めることをご了解得ました。

近年、自然環境の現状が報道されるなか環境問題の重要性に強い感心を持っておりましたが、旧大井川町主催のエコアクション 21 普及セミナーに参加する機会を得、環境経営システムを構築しエコアクション 21 の取り組みを始めました。今回、初の更新審査を迎え、現在までの取り組み状況を評価・反省として記述します。

1. 計画について

- ・環境方針の「基本理念」「行動指針」において文言の一部を変更しました。

文章の変更であり基本的な骨子は変わりません。無理のない構えで指針作りをしました。周知については朝礼、部門別会議を活用し訓練等も実行しておりますが、今後も少しずつ充実するよう努力します。

2. 実際の取り組みについて

- ・組織体制は行動上大きな問題はなく、全体のコミュニケーションもよく全体的に理解、意識、行動が伴ってきました。徐々に進歩の姿が見え当分現状でよいと考えます。
- ・業務活動は「容器検査部(工場内作業)」「工事部(現場作業)」「事務所」に分かれており取り組みデータの収集、整理上困難な面がありますが、活動計画を更新時等に具体面での指導を受けて改善していく事で、適切な目標計画で正しく成果に反映できるよう社員と共に努力します。
- ・教育、周知については朝礼、部門別会議を活用し、訓練も計画の立案どおり実行していますが、今後は取り組みのメニューの充実を課題とします。環境関連の責任体制には問題はなく、取り組み全体の行動に社員の自己責任を感じ、よいと思います。
- ・環境に絡む緊急事態の発生等は現在までにありませんが、万が一発生した緊急事態時の処置行動体制は業種柄、常に社員意識にあり大きな不安はありません。今後は地震発生と環境関連を絡めた緊急時の想定を重要視して訓練をする必要があり実行していきたいです。
- ・環境目標に向けた行動過程で実施状況の経過等の社内広報には不足感があり、社内掲示等具体的方法で強化します。
- ・環境活動に対する社内の意見・提案を活動に生かすため、社員からの情報を収集するため提案箱等の設置を行いたいです。

以上、総体的評価とします。今後も環境経営をより具体的に勉強し目標を持ち少しでも環境保護に貢献し、事業者としての責任を果たすことに力を注ぎたいと思っております。

平成 21 年 8 月 31 日

不二高压株式会社

代表取締役社長 新 井 二 郎